



# 第44回 日本動物園水族館教育研究会へ！ ASAHIYAMA ZOO

発行所  
動物資料展示館  
旭川市  
旭山動物園  
36-1104

## 第44回 日本動物園水族館教育研究会 旭川大会

**一般公開シンポジウムのテーマおよび概要**  
日時 2003年9月27日(土)  
14:00~16:00[一般公開シンポジウム]  
テーマ 「学校教育と動物園・水族館」  
パネリストとして、現場教師、教員養成大学の教官、水族館・動物園職員をお招きし、それぞれの視点から学校教育と博物館施設の協力や連携のあり方などを提言していただき、それをもとに討議する予定です。

**大会テーマ「学校教育と動物園・水族館」**  
会場 旭川勤労福祉会館(2階 大会議室)  
誰でも自由に参加できる  
一般公開シンポジウム  
9月26日までに参加申し込みが必要ですが、(参加料=無料)  
9月26日までに参加申し込み  
電話 0166-36-1104  
問い合わせは、旭川市旭山動物園  
担当者は、奥山 坂東です  
本大会は27日(土)・28日(日)の二日間にわたり、全国各地から動物園、水族館職員、現場教師、N G O関係者などが集まり、日頃、職場で実践している教育活動についての成果や問題点をだし、さらに、よりよい活動を目指す研究討議の場です。  
旭山動物園では、本大会に全国各地から集まってくださった参加者の皆さんからの貴重なご意見などを生かして、学校教育に関わる動物園の役割をさらに研究し、実践活動を深めていきたいと考えています。

参加申し込みの方法は開催要項から抜粋して、下記の枠内にまとめましたのでお読みになつてお気軽にお申し込み下さい。一般の方々の大勢の参加をお待ちしております。  
なお、より詳しく知りたい方は次にお問い合わせ下さい。

**テーマ「学校教育と動物園・水族館」について**  
新学習指導要領において、学校教育は博物館や動物園などの校外の学習施設を積極的に活用するよう求められています。それに伴い社会教育施設は学校教育の多様なニーズに応えるよう事業の整備をしなければなりません。  
さらに言えば従来の学校教育と社会教育といった枠組みにとらわれることなく、より子どもたちへの教育的な効果を高めるために、学校教育と社会教育施設の「学社融合」が求められています。  
こういった背景をもとに、互いにどういった働きかけや協力が必要なのか考える機会とするため、本大会のテーマとしました

児童の皆さんには少し難しくても「ごめんね！」  
二日間の日程の内一般公開シンポジウム以外の研究発表・施設視察・研修への参加は日本動物園水族館教育研究会の会員の方のみとなっております。この了承下です。  
授業の一コマ

- コーディネーター**  
森永 正治 北海道教育大学教授  
北海道教育大学附属旭川小学校校長
- パネリスト**  
蛇穴 治夫 北海道教育大学助教授  
磯部 敦子 旭川市立旭川第三小学校教諭  
高田 浩二 マリンワールド海の中道学芸部長  
坂東 元 旭川市旭山動物園飼育展示係長

**日本動物園水族館教育研究会とは！**  
動物園水族館における教育活動の実践経験の交流、調査、研究ならびに啓蒙活動を行い動物園水族館の発展充実に寄与する事を目的とした任意団体です。  
一九七五年(昭和50年)に結成されて以来25年以上の歴史を重ね、研究会の開催は43回をかぞえています。  
会員は、目的に賛同し所定の年会費を納めたものであれば誰でも加入できるため、動物園水族館職員だけでなく、学校教員、ボランティア、学生、一般企業職員、など、平成15年7月現在

さらに、平成12年からは会費の蓄えの一部を会員の研究活動を援助するための助成金も発足させ、単なる研究発表の場から教育実践する人々を育てる会へと成長を指しています。(事務局の紹介より)

**主催** 日本動物園水族館教育研究会  
**共催** 旭川市旭山動物園  
**後援** 旭川市・北海道教育委員会  
旭川市教育委員会  
(社)日本動物園水族館協会

**一般公開シンポジウムのみの参加申し込み方法**  
一般公開シンポジウムは、日本動物園水族館教育研究会の会員でなくても、自由に参加できますが、あらかじめ申し込みが必要です。  
一般公開シンポジウムの申し込みは、旭山動物園で電話(0166-36-1104)にて受け付けています。  
受付期間は8月24日(日)～9月26日(金)で、定員になり次第、締め切らせていただきます。